

●獨逸の佛國鐵鋼に對する野心

(一九一八年一月四日發刊エンヂニアリング所載)

獨逸鐵鋼業者の團體は頗る鞏固なるものにして機具、機關、船舶及其他の製作業者と相提携し其の勢力は獨逸政府に於ても亦之を認め常に彼等か將來の利益に關して顧慮する所あり曩に全歐洲を聳動せしめたる軍艦バンテール號をマガデアーに急派したる事件の如きは是北部阿弗利加に於ける鐵鋼產地の一部を分割せむと欲したる獨逸鐵鋼業者の督促したるものなり又獨逸の鐵工業者の有力なる地位は比較的好況ならさりし他の小製作業者の再三の抗議ありしにも拘らず現戰爭中莫大なる利益を贏ち得たるに見るも明かなり獨逸鐵鋼業者の鞏固なる態度は現に敵國と調停するの提議を斥け以て獨逸領土内の現存鐵鋼の供給を大に増加すへしと主張しつゝある程なり此の主張は鑄鐵所、製鋼所、及軋鐵所橋梁及貨物製作所造船所機關製作所鐵鋼鑄造所仕上工場其の他を含む獨逸鐵鋼同盟會の開催したる最近の會合に於て論議せられたり即ち獨逸は須らくブレエイ及ロン

ウエイ地方の鐵鑛產地の占領を保留し及露西亞の鐵及滿俺鑛石に充分なる供給を占取するの要ありと決議するに到れり開戰後第三年の該同盟會の報告によるときは愛國補助勤

務(Civil Patriotic Auxiliary Service)に關する法令の効果を論して勞働組合に依りて實行されたる該法令は却つて其の目的に反對し影響を生じたることを指摘しあり職工動員の強制計畫は其の實失敗に歸し戰爭最中自由勞働の旌旗翻々として翻れり唯愛國勤務令(Patriotic Service Bill)の規定は職工の移動を利し其の結果給料を將來獨逸か世界の貿易場裡に於て競争せむとするの秋其の能力に一恐懼を來すへき標準に引上げたりと。

尙社會民主黨の國務次官たるオーガストミュラー博士は製産能力の増加に關する同盟會の努力に對して援助せられたりと記述し要するに製出能力増加の目的を達せむには單に勞働問題の順調を要するに止まらず運送の改善、外國の競争者に對する内國貿易の保護亦工業に要する原料の供給を確保せむかため獨逸國境の擴張を要すとなせり又該報告は此點に關し他の列強國か獨逸よりも此位置にありて多量の食料及多量の原料を有することを述べ獨逸鐵鋼業者か主張する佛國鐵鑛產地の保留は自國內の鐵鑛產地か將來僅かに四五十年間を維持するに堪ゆるのみなるを以て其必要ありとなし亦獨逸の農作物を増加せむ爲には燐素の供給を獲るの必要ありとせり獨逸の敵國は獨逸にして其の鐵鑛の資源を擴張するに非されは今後五十年にして獨逸は自國鐵を以て戰爭を行ふ能はざることを了解するものなり。

尙齊しく重要なるは相當の關稅を附して外國の競争者に

對し内國貿易を保護するの一事なり官營及民營の工業に關しては後者は前者よりも好成績を上げたるは事實にして從つて將來前者よりも大なる製出能力を有するに到るへし之は主義として所謂強制的シンデイケートを棄却せるに基因す。

又石炭稅戰時利得稅の増徴鐵道運賃率の引上及切迫せる一割五分の物價値上問題にも言及し是等の騰貴は平和克復後成るべく速かに破棄するの必要ありと切言されたり。

此會合に臨みて一論者の鐵鋼問題に及へる所に依れば戰前獨逸の千六百八十萬噸の銑鐵製出に要したる鐵鑛の五割は輸入したるものなり今後四五十年の後には獨逸の鐵鑛產地は殆ど掘盡さるへし佛國は自國の工業に何等の障害を蒙らずして此の鐵鑛の必要額をよく獨逸に提出することを得へし露國も亦同様なり露國ユークレン(Ukraine)のクリヅイログ(Krivoi-Rog)地帯には上部シリシア地方及西獨逸地方の鐵工業に最も必要なるベッセマー銑鐵を生ずべき最理想的の無盡の鐵鑛產地ありポーランドの鐵鑛產地は毎年約十萬噸の鐵鑛を上部シリシア地方の製鐵所に供給するとを得而してラブランドの大鐵鑛產地より採掘さるゝ瑞典の鐵鑛も亦將來必要なるへし加之伯刺西爾の大鐵鑛產地を分割するは獨逸製鐵所に必要となるへし滿庵鑛石に關してはコーカサス及其他露國の所々に於ける其の無盡の產地は第一に指摘されたり茲に注意すべきは此の重要な

る產物は獨逸か之を全然外國よりの輸入に俟つとなり。

鐵鑛及滿庵鑛石の供給の保全は平和協議の先決問題たらざるへからす何となれば此の一問題に總て獨逸工業獨逸帝國及獨逸國民の將來の存亡に懸るを以てなり先頃サーダブルユー、ジェアシユレイ教授はスタッホードシャー鐵鋼學會の一集合に臨みて此の獨逸鐵鋼同盟會の創立の歴史を説き而して偶々ブレイイ及ロンウエー地方の鐵鑛資源に言及せり教授の言に依れば獨逸の鐵鋼業は一八七九年に於て既に二年間關稅の保護を受け居らざりしものなり當時銑鐵の製出高は二百二十萬噸にして一八七三年の製出高よりも寧ろ少し然るに一八七九年後は多大なる關稅の實施により毎年其の製出高を増加し一八九〇年には四百六十萬噸を算するに至れり。

一八九三年に至りては獨逸は荒鋼(Crude steel)の製出に於て英國の二百九十萬噸に對し三百十萬噸を製出して英國を凌駕せり當時獨逸は銑鐵の製出に於ては尙英國に劣りたれ共僅か十年を経たる一九〇三年には是亦英國を凌駕せり一八九二—三年には鐵鋼業界にシンデイケート組織の運動起りて着々功を收め居たり乃ち一八九二年には獨逸銑鐵業者の同盟起り又一八九三年にはウエストファリア石炭シンデイケートの創設するあり續いて年々各種鐵鋼業の分業に屬するものは此の例に倣へり是等分業者の結合は普通其の當初は單に價格の協定を爲し次には販賣の割當を爲し最

後には貨物の取引を總て協同販賣機關に集中するの必要を感じたり就中最も重要なるは Halbzengerband 又は半製鐵鋼シンデイケットと稱する鐵塊及鐵棒製作業者のシンデイケットなり一九〇四年に前述の三シンデイケットは聯合して Stoklwerksverband と成り爾來該シンデイケットは鐵鋼事業を支配し來り昨年末に到りては鐵鋼の全製出品及各種の製作品は總て戰爭目的の爲め四個所の中央鐵材取引所の配下に集中されたりシンデイケットの一重要事業は過剰の貨物を外國市場に安價に賣捌くにあり此事實は亦其の貨物か外國にて仕上製作品となりて公開市場に於て獨逸製作業者か安價附の製作品を以て競争し得るよりも安價に賣捌かゝると云ふ不平の聲を聽くに到れり是を以て補助金の制度を講ずるに至れり一九一三年には輸出石炭及コークの補助金は噸當り一志六片より二志六片に銑鐵は四志六片より六志三片に製作に用ゆる半製鐵材は一〇志より一五志に増加せり一九〇二年以來獨逸の鐵鋼輸出は其の當初遅々たるものなりしか後には急速なる増加を爲し一九一〇年には英國を凌駕するに至れり之は全然一九〇二年以來補助方法か外國市場の獨逸鐵材需用者をして最早不便を感せしめさりし事のみならず亦當初は一時の過剩貨物を除きて内國市場の壓迫を救済するに過ぎざりし安賣政策か確に獨逸鐵鋼業者の永久の政策となれる事を示すものなりとアシユレエイ教授は説けり獨逸か自國需用の活氣又は不振を問はず斷然

其の各工場總運轉の政策を繼續するの事實は是其の領土内に佛國の鐵鑛産地を包藏せむとするの野心を意味するものなり此の資源に依りて獨逸か既に如何なる利益を獲たるかはザアブルウケン (Sarbrücken) 商業會議所長シレンカー博士か佛領ローレンを論したる一論文に明かにして乃ち博士は同論文に於てブレエイ地帯一年の鐵鑛採掘は五百萬噸にして獨逸の金屬輸出高の約六割七分に又獨逸鐵材供給高の二割八分に匹敵するものなりと述べたり獨逸か佛國より輸入せる鐵鑛は一九〇一年の四萬五千六百噸より一九一一年の二百十二萬二千九百噸及一九一三年の三百八十一萬噸に増加せり一九一三年に於ける西班牙よりの輸入鐵材は三百六十三萬二千百噸にして瑞典よりは四百五十五萬八千四百噸なりしか兩國の鐵鑛は其の質佛國鐵鑛よりも優良なり一九一三年度獨逸の鐵鑛供給を表示すれば左の如し。

鐵 鑛 石

鐵鑛石の含める鐵材

採掘	三五、九四一、〇〇〇 ^噸	一〇、五四一、五〇〇 ^噸
輸入	一四、〇一九、〇〇〇	七、七一〇、四〇〇
合計	四九、九六〇、〇〇〇	一八、二五一、九〇〇
輸出	二、六一三、〇〇〇	七八三、九〇〇

自國需用 四七、三四七、〇〇〇 一七、四六八、〇〇〇

是を以て鐵鑛の含める鐵材の四割四分は輸出せるものなり前述の如く佛國よりは總輸入の一割八分二厘九毛に相當する百四十一萬噸の鐵材を輸入したる譯なり。

獨逸の佛國鐵鑛に對する野心に鑑みれば佛國か其の囑望産地に接近せるヴェルダンに於て勇敢に戦ひたるは怪むに足らず内國防備委員會の幹事たる上院議員ベレンガー氏の言の如く「獨佛兩國か鐵の支配權を爭ふの戦場たるブレエイ鐵鑛産地」に對して多大の犠牲を拂ひたるは決して徒爾に非ざるなり。

●獨逸とローレン鐵鑛との關係

(「ゼ、アイオンエージ」誌一九一八年二月十四日所載)

獨逸ケーニツシエ、ツアイツング誌は其誌上に於て論述して曰く佛國總理大臣は佛國は獨逸か現に注目しつゝあるアルサスローレンを恢復するに至る迄は現戦争を繼續するを要すると演述すれども假令佛國は自國救済の必要上よりアルサスローレンの所有を主張するとも此等諸州を喪失するは其豊富なる鐵鑛を失ふを以て獨逸に採りては經濟的の破滅なりと説けり該誌は更に又獨逸の鐵工業上該地方の價値ある所以を數字的に示せり其要點を掲ぐれば獨領ローレンに於ける鐵鑛床の廣さは約十萬八千エーカーに及び内輪の計算に於て鐵鑛約十八億噸を保藏せりと謂へり。

今茲に戦前三年間に於ける獨逸關稅同盟の鐵鑛産額を舉るに左の如し。

產出地方	一九一一年	一九一二年	一九一三年
噸數	噸數	噸數	噸數
百分率	百分率	百分率	百分率
ローレン州を 除きたる獨逸	六〇五、九八五	七二六、〇七八	七四七、三三九
獨逸	一、七七四、五七二	二、〇〇八、三三六	二、一三三、五五四
	五九、四	五九、五	五八、八

又比較の爲め佛國に於ける鐵鑛の産額を掲ぐるに左の如し。

產出地方	一九一一年	一九一二年	一九一三年
噸數	噸數	噸數	噸數
百分率	百分率	百分率	百分率
ブルグゼン ルグゼン 合	六〇〇、七九七	六五三、九三〇	七三三、七三三
計	二九八、九三三	三三三、三六四	三三九、四一五
ブ ナ ン シ ー 及 一 其 他 の 佛 國 計	一、〇四七、三三三	一、〇三〇、二七五	一、〇二五、四七二
	四七五、一三九	四七五、九八九	四六六、一〇一
	一、五五五、五八	一、五〇六、三七五	一、四九一、五七三
	二六六、三六〇	二六六、三六〇	二六六、三六〇

前記のブレエ、ナンシー、ロンウエー等の所謂メネ地方は現今大部分獨逸の占領する處にして此等の地方より産出する鐵鑛は佛國全體の鐵鑛産額の約九割に當れり其全面積は六千ヘクタール（十五萬三千エーカー）にして包藏する鐵鑛の概算三十億噸と稱せらる。

前表に依りて見るときは獨領ローレンのみの産鐵額は全佛國の産出額に等しきを知るへし尙前記の外獨逸は戦前より銑鐵製造の目的を以て瑞典、那威より多量の鐵鑛を輸入せり反之佛國は前記自國産の鐵鑛全額を使用すること能はすして之れを外國に輸出し主として鐵鑛の産出少き白耳義及獨逸に輸出し其額三十八%に達す。

左記を看るときは其消息自ら明瞭なるへし。

鐵鑛需要額	獨逸	佛國	國
一九一二年	一九一三年	一九一二年	一九一三年
四三、五四、三六	四七、三七、七三	二二、九〇、四八	二二、七二、〇〇
三三、七三、八七四	三三、九四、二八五	二九、一六、〇〇〇	二二、九〇、〇〇〇

輸 入 額	輸 出 額
六八〇、四六三	二、五五八、七
六八六、五三三	八、三八八、〇〇

獨誌の所説を引用すれば「若し吾人がローレン及ルクゼンブルグを所有せざるときは近時の製造工業及軍國に執りて最も緊要なる天然の富源の五分の四を喪失するものなり」と戦前に於ける獨逸の鐵産額と佛國の鐵産額の比は三十六對二十一の割合なりしか所謂獨逸主張の平和に従ふときは五十一對六となり若し夫之を聯合軍が獲得せんとする平和に依るときはルクゼンブルクの産額を白耳義に輸出するものとして八對四十二となるへし云々。

●獨逸軍占領佛國鐵坑の價值及獨逸に於ける鐵鑛の需要

- 一、佛國の鐵鑛
- 二、ブリエ鐵坑占領の軍事上に及ぼせる價值
- 三、戰爭前に於ける獨逸の鐵鑛供給
- 四、獨逸に於ける鐵鑛及石炭
- 五、戦後に於ける鐵及鐵鑛の需要

(大正七年四月三日附在瑞西帝國
特命全權公使三浦綱五郎報告)

三月二十七日發刊フランクフルター、ツアイツングは目下獨逸の占領中なるロートリンゲン州ブリエ(Briey)及ロンウキ(Longwy)鐵坑の價值並に獨逸に於ける鐵鑛の需要に關し左の報道を掲載せり。

一、佛國の鐵坑

佛國は一九一三年二千五百五十萬噸の鐵鑛を採掘し此中千三百十七萬噸は自國製鐵場に於て鑄解し殘額八百三十一萬噸は白耳義及獨逸に輸出せり又總産額二千五百五十萬噸中千五百四十三萬噸はブリエ鐵坑二百四十七萬噸はロンウキ鐵坑百九十一萬噸はナンシー鐵坑より採掘し殘餘百六十九萬噸はロートリンゲン州以外の諸鐵山より採收せるものなり上述の如く佛國の鐵原料は現在まで殆んど全部ロートリンゲン州の産出に係る是れ佛人か同州を喪失するに於ては佛國の鐵工業は滅亡すへしと絶叫する所以なり。

然るに最近佛國に於ては北部のノルマンディに大鐵鑛地域發見せられたり普國地質協會々頭バイシユラク博士及同部長クルツシユ博士は上述ロートリンゲン州鐵鑛の存在高二十六億五千萬噸と見積りたるに反しノルマンディ新坑區の鐵鑛存在高を四十七億噸と計上せり尙兩博士の説明に據れば佛國全體の鐵鑛存在高は八十二億噸にして獨逸の鐵鑛存在高二十三億噸に比較し三倍餘に該當す。

一九一三年中佛國に於ける鑄鑛爐總數は百五十九なりしか就中八十九はロートリンゲン州に存在し佛國銑鐵總額四百九十五萬噸中三百四十萬噸又鋼鐵總産額四百四十萬噸中二百二十一萬噸は同地方より産出せり然るに獨逸軍がブリエ及ロンウキ等の鐵坑區域を占領後獨逸は古鐵を取得せんかため上述鑄鑛爐を全部破壊せるを以て目下同地方の製鐵

業は殆ど全滅せり。

二、ブリエキ鐵坑占領の軍事上に及ぼせる價值

一八七〇年乃至七一年の戰爭中砲彈用として使用せられたる鐵量は百十萬噸なりしか現戰爭中最初の四十ヶ月に同目的のため消費せる鐵量は五千萬噸なり故に戰爭は一面に於て物資力の競争にして殊に鐵の戰爭なり但し右理由に依り吾人か戰爭の初期に於てブリエ鐵坑を占領せざりしとせは獨逸は現戰爭に失敗せるなるへしと速斷するは誤解なり

一九一六年十二月八日の獨逸鐵及鋼鐵業組合總會席上に於ける當局の説明に據ればブリエ鐵山は一九一四年秋勞働者缺乏のため一時作業を中止し尙タンネンベルク戰捷後捕虜を使役し再び作業を開始したるか其の採掘高は戰爭開始後四十ヶ月の間に總計千萬噸にして又現在の一ヶ月産額は五十五萬噸なり上述ブリエ鐵坑の總産額は之を一九一三年中のブリエ及ロンウキ鐵坑の産額千七百六十二萬噸獨逸領ロートリンゲン州の産額二千四百四十萬噸獨逸爾餘の産額七百四十七萬噸並にルクセンブルグの産額七百三十三萬噸に比較せは極めて少額にして從てブリエ鐵區の占領か獨逸軍事上の成績と密接の關係を有せざるは明なり。

三、戰爭前に於ける獨逸の鐵鑛供給

吾人は次の統計表に依り重なる鑛業國の鐵鑛及銑鐵産額を示せり米國は鐵鑛及銑鐵の産額に於て嶄然頭角を表はし獨逸は第二位を占む。

八九〇

獨逸の銑鐵産額は十九世紀末頃に於て遙に英國の下位にありたるか一九〇二年には之れに追及し一九〇三年以後急速に英國を凌駕せり又白耳義は鐵鑛を外國に仰き之れに反し佛國、瑞典、西班牙及露國は鐵鑛の一部を外國に輸出せり尙日本の表中に加へたるは同國に於ける鐵原料缺乏の狀態及其南支那鐵山獲得の希望か如何に強烈なるやを表示せんかためなり。

一九一三年世界鑛業國の鐵鑛及銑鐵産額比較表

國名	鐵鑛	銑鐵
獨逸及ルクセンブルグ	三二、六九二、〇〇〇	一七、六一七、〇〇〇
英國	四、七一六、〇〇〇	二、六〇六、〇〇〇
露國	八、二一九、〇〇〇	四、一九八、〇〇〇
伊太利	五八二、〇〇〇	三八〇、〇〇〇
西班牙	八、七七四、〇〇〇	四〇九、〇〇〇
佛國	一八、五〇〇、〇〇〇	四、九四九、〇〇〇
白耳義	一六七、〇〇〇	二、三一、〇〇〇
瑞典	六、六九九、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇
英國	一四、〇一二、〇〇〇	九、〇三一、〇〇〇
米國	六〇、四四〇、〇〇〇	三〇、二〇三、〇〇〇
アルゼンチン	一、二三九、〇〇〇	六四、〇〇〇
日本	...	...

次に一九一三年獨逸の鐵鑛貿易を表示すへし。

一九一三年獨逸の鐵鑛輸出入額國別表

國名	輸 入	輸 出
佛國	三、八一〇、〇〇〇	八五四、〇〇〇
白耳義	一二七、〇〇〇	一、七三五、〇〇〇
國義	一、一二七	五、一三

希臘	挪威	瑞典	英國	法國	西班牙	アルゼンチン	チリ	ニュージーランド	總計
一四七、〇〇〇	三〇五、〇〇〇	四八九、〇〇〇	四、五五八、〇〇〇	三、六三二、〇〇〇	四八一、〇〇〇	一三六、〇〇〇	一二一、〇〇〇	二、二二一	計二四、〇一九、〇〇〇
二、五〇	七、四四	一、九六	一二、七二	八六、七一	七二、六四	一〇、一〇	二、八六	二、二二	二二、二二、七二二、六二二、〇〇〇
									七、七〇

右表に依り明かなるか如く價額を標準とせは獨逸に輸入する佛國鐵鑛は比較的重要ならず同額の西班牙鐵鑛は價額に於て約三倍なり現在獨逸鐵工業が殊に要求するは佛國鐵鑛にあらずして含燐分の僅少なる瑞典、西班牙及アルゼリア產鐵鑛なり。

四、獨逸に於ける鐵鑛及石炭

佛國ブリエ鐵坑は現在に於ける價値を離れ鐵鑛供給問題の將來より觀察するときは獨逸に對し重要な意義を有す獨逸は石炭に就ては殊に豊富なり千九百十年國際地質學者會議の計算に據れば世界總炭坑の石炭量は七兆三千九百七十五億五千萬噸にして就中米國は三兆八千三百八十六億六千萬噸獨逸は四千二百三十三億六千萬噸、英國は千八百九十五億三千万噸、佛國は百七十五億八千萬噸を有す故に獨逸は歐洲に於ける最大の石炭國なり千九百十三年獨逸のコークス輸出額は六百四十三萬噸に達し就中二百三十八萬噸は製鐵用として佛國に供給せり。

獨逸の鐵坑は炭坑の如く有望ならず、ベイシユラツク及クルツシユ兩博士は獨逸の鐵鑛存在總量を二十三億噸と見積り獨逸側ロートリンゲン其の他の諸鐵坑は今後四十五年乃至五十年間に採掘し盡さるべきことを斷言せり、兩博士の意見に關しては猶研究の餘地ありとするも獨逸鐵鑛の貧弱なるは事實なり故に鐵工業將來のため二十二億五千萬噸の鑛量を有するブリエ及ロンウキ鐵坑を獨逸に確保することは尤も大切なり。

五、戰後に於ける鐵及鐵鑛の需要

戰爭中消費を制限せざるへからざりし各國は戰後俄に鐵の需要を増加すべきを以てブリエ鐵坑は平和恢復の第一年より重要な價値を生ず、獨逸は戰爭中軍事上の目的に提供せる鐵工業を轉用し工業用鐵材を製出し其の輸出に依り戰後當然起るべき巨額なる輸入と相殺し且つ獨逸の貨幣相場を維持せざるへからず、而かも同目的の實行には莫大なる鐵原料の存在を要件とす、ブリエ鐵坑の鑛質は充分と云ふ能はさるも近距離に存在するか故に同鐵坑を獨逸のため開放するは絶対に必要なり。

平和條約締結に際し執るべき政策は純然たる實利上の基礎に建設せられざるへからず、故に敵國の復仇心を挑發するか如き手段は回避するを要す、平和の機運熟するに於ては吾人は佛人と妥協し國境の變更、土地の交換或は讓受者の方法によりブリエ鐵坑を確保せざるへからず又同鐵坑の

94 完全なる取得不可能なりとせば探掘權を獲得し或は鐵礦供給特約を締結するも可なり。

佛國の讓歩に對しては吾人は代償物を提供することを得佛國は獨逸の石炭及コークスを要求する故に現在中立國及交戰國間實行さるゝ如き物資交換協約を成立せしむるも一方法なり、但し上述の希望を實現するには佛國側に於ても妥協の意思及協同して戰後經營に當らんとする眞摯なる決意の存在すること必要なり。

●獨逸の戰時利得

(千九百十八年四月十九日 エンジニアリング)

一、「マチルデ鎔鑛所」(the Mathilde Hütte) (在バット、ハルツブルグ)

採鑛及鐵工所なる同會社千九百十七年中に於ける配當率は二割にして燃料の缺乏は鎔鑛爐の運轉を妨くるものあるも同社將來の發達は囑望に値す、同會社所屬の「フレデリック」鑛山に於ては更に良質の鑛脈を發見し、同鑛山の生命は永久に確立せらるゝに至れり。

二、「ブルンスウィック」炭鑛會社 The Brunswick Coal Mining Company (在ヘルムスタット)

千九百十七年中に於ける同社の配當率は一割五分にして石炭及煉炭の價格にして生産費の増加に伴ひ騰貴せしむることを得は同社配當率の前途は有望なり。

三「オーガスト、リーディングル」輕氣球會社(オーグスブルグ)

昨年中に於ける同社の配當率は二割五分にして戰時發行の額面百馬克の新株に對しては一割の割増配當をなしたり、現に註文輻輳し前途益有望なり。

四、大陸護謨會社(在ハノーバー) The Continental Caoutchouc Company

千九百十七年に於ける同社の總收益は千九百十六年の九百五十二萬六千六百七十六馬克に對し千百十二萬八千九百五十七馬克の巨額に達したりと雖其の純益は修繕費、租稅戰時補助費 War aid expenses の増加したるか爲め却て減少し千九百十六年の純益は九百十七萬二千三百三十九馬克なりしも千九百十七年に於ける純益は八百三十六萬二千二百二馬克に減するに至れり千九百十七年中に於ける同社の配當率は三割と決し、株式及債券の所有額は一昨年の二千八十萬馬克より二千七百六十萬馬克に増加したり。

五、ザクセン電燈電力工場(在ドレスデン)

千九百十六年中に於ける同社の利益は四百二十六萬千七百二十一馬克なりしも千九百十七年には六百三萬八百五十六馬克にして千九百十七年の株主配當は千九百十六年の二割に對し三割に達せり、賣上高は著く増加し千九百十七年を通し八百萬馬克に達し更に同社株式及債券の所

有は二百九十六萬千八百八十馬克より七百六十一萬六千九百九十二馬克に増加し銀行信用も亦百五十六萬三千百十六馬克より七百三十六萬五千七百三十三馬克に増加したり以て同社の隆盛を察知するに足るへし。

六、「テール」鐵工場 (The thall iron Works)

同社千九百十七年の普通配當率は千九百十六年と同じく二割六分なりしも其の特別配當を見るに千九百十六年に於ては一株六百萬馬克に付百二十五馬克なりしもの千九百十七年に於て百七十五馬克を支拂へり賣上高は前年の四千八百萬馬克より五千百萬馬克に増加し、過去四年間石炭の缺乏に苦しむことなかりしならんには其の賣上高は尙遙に増加したるや疑なし、同社純益は前年の八百四十萬馬克に對し七百七十萬馬克にして債務帳消 (Writing off) は前年の百九十萬馬克に達し二百六十萬馬克に達し株式及債券の所有額は前年の千百五十萬馬克より千五百萬馬克に増加し銀行信用も亦八百八十萬馬克より千四百五十萬馬克に増加したり、同社は註文輻輳し石炭の供給は稍豊富に向へり。

七、シャイデマンデル商會(在伯林) (the large Scheidemannel Concern)

戰時準備金を控除したる同社千九百十七年の總收益は前年の八百四十七萬馬克に對し千百五十四萬馬克に達し同社株式資本は確實なる積立金六百五十一萬馬克を加算す

るときは千百萬馬克に達し債券株式等の所有額は七百五十六萬馬克より千三百五十四萬馬克に増加したり。

八、「マンハイム」鐵工場 (The Mannheim Steel Works)

同社千九百十七年中に於ける配當は普通配當二割、特別配當二割にして普通配當三割に増加する議案は否決せられたり、同社は新に「ブレッスマー」工場を設立したる結果大に其賣上高を増加したり序に右新設工場は既に作業を開始せり。

九、「ヒルシュ」銅及眞鍮製作所 (The Hirsch Copper and Brass Works)

報告に依れば「ヒンデンブルク」將軍の作戰計畫は延いて同社の業務をして益多忙ならしめ新に別個の最新式獨立工場の設立を促したりと謂ふ、去れば昨年千九百十七年は同社に取り出費多額にして豫備工事に忙殺せられたる年なりとす、純益は前年の四百九十六萬馬克に對し五百三十三萬馬克に達し配當は前年と同じく二割なりと雖其の資本は前年の一千馬克より千五百萬馬克に増加したり、株式は新工場の株式を加入するときは八百二十萬馬克より千五百八十四萬馬克に増加せり。

債券及株式の所有額は獨逸國債千三百萬馬克を併せ千八百萬馬克に達せり「ヒルシュ」會社「エレクトラル、ザクセ石炭瓦斯動力會社」及「ノイメヤル」氏の「ババリア」鐵工場並ババリアの北部黒鉛工場會社に關係を有す中、エレ

クトラル、ザクセ石炭瓦斯動力會社は來る夏季の交より事業開始の豫定にして又ババリア鐵工場は本年中には相等の利益を擧ぐる見込なりと謂ふ、尙ほヒルシユ會社は目下他と協同して黒鉛探掘の豫定なるダニウブ、増埒會社を設立中なり。

十、サクソニー機械工場（在ケミンニツ、）

一九一七年中同社は其の資本を増加すること三百萬馬克なりしか其の賣上高より見るに右増加資本は戰時の影響を受け最有利に運轉せられたるを見る、即ち千九百十六年及千九百十五年の賣上高は夫々千七百三十四萬馬克及千五百五十八萬馬克なりしもの千九百十七年には實に三千五百五十五萬馬克の巨額に達したり、尙千九百十六年前四ヶ年間は無配當なりしもの千九百十六年には七分の配當を爲し千九百十七年には一割二分九厘の配當を爲したり。

十一、クロンブリッツ金屬工業會社（在オーリグス）

千九百十五年の同社配當率は二割五分なりしか、千九百十六年には同社財政上の基礎を確立せむか爲一割五分の配當を爲したるに過ぎず、去れと株主は舊株一株に付新株一株の無報酬引受を爲し一株に付四十馬克の拂込をなしたり斯くして同社現在の資本は舊資本株總計五百六十萬馬克の倍額となるに至れり、更に同社は新株の全部拂込を見る迄は一割五分以上の配當を爲さることに決し

たり、是千九百十七年に對しても亦一割五分を配當したる所以なり。

十二、グリッツネル機械工場（在デュルラフ）

千九百十六年の同社純益は六十一萬七百十七馬克なりしか千九百十七年には其純益は百三十七萬五千三百九十七馬克に達し又昨年の配當率は千九百十六年の九分に對し各種の基金を準備したる後一割五分に決定したり。

十三、コロン新エッセン鑛山會社

同社千九百十六年及千九百十七年中に於ける配當率は何れも四割なり。

●英國政府石炭監理及同國產炭額

（大正七年四月二十二日倫敦駐在總領事報告）

一、政府の施設

開戰後軍隊、軍需品の運搬の爲一般貨物の鐵道輸送阻碍せられ英國内に於ける石炭の分配漸く澁滞せんとしたるか次て多數の熟練なる炭坑夫が軍隊に入りたるため石炭の產出減少せり、英國商務省は石炭の分配を促進するため諸鐵道（鐵道は開戰後直に政府監理の下に置かれたり）と協議して適當の措置を講せしめ且つ坑主に石炭の產出を充分に維持することに勉めしめたり。千九百十五年五月商務省は石炭輸出委員を任命し石炭の輸出制限のことに參與せしめ、尙ほ分配を調節するため同年末に至り地方石炭骸炭供給委

員を設け倫敦には中央石炭骸炭供給委員會を置き商務、海軍、内務、軍需諸省及鐵道坑主石炭商側より夫々委員を出し石炭供給分配方法を講究せり、而して又國防規則に依り政府は國家の必要に應じ石炭骸炭の優先引渡を命するの權能を與へられたるか此權限の行使は右中央石炭骸炭供給委員會に委任せられたり。

是より先き千九百十五年二月内務省は戰時必要なる石炭の生産額を確保すへき炭坑の作業組織及坑主坑夫間の協力を改善増進する目的を以て雙方の代表者より成立する調査委員會を任命したるか此委員會は後に至り變形して石炭總監の諮問機關と爲れり、而して以上の諸委員會の聯結統一を圖るため石炭供給分配監督長官設置せられたり。

然るに千九百十六年十一月南威爾斯に坑夫の同盟罷工あり因て政府は國防規則に依り商務省に炭坑を管理するの權能を與へ商務省は十二月一日南威爾斯の諸炭坑の監理權を收め次て千九百十七年三月全國の炭坑監理權を其の手に收め、又同時に石炭總監の任命あり、同總監は石炭の產出、分配、値段、消費等の監理調節に關する全權を與へられ前記中央石炭骸炭供給委員は廢止せられたり、千九百十七年七月石炭總監と炭坑業組合との間に炭坑監理に關する契約締結せられたり、之に依れば坑主は戰前に於ける其の平均收益超過額の九割五分を提供すべく石炭總監は戰時利得税として支拂はれざる部分を收納す、總監は之に對し炭坑の

產出減少せざる限り坑主の戰前平均收益を保證す、又坑主は戰時利得として戰前平均收益の五分の一以上を自己の收得とすることを得ざる制限あり。

二、石炭總監の權限

石炭總監は國家の利益のために全國石炭の產出及分配を監理し且つ坑夫の不滿を防ぐため坑夫をして公共のために働き坑主に過大の收益を與ふるために勞働するものにあらざることを諒察せしむるの任務を有す、尤も炭坑經營の實務は出來得るだけ坑主をして之に當らしむ、又石炭總監は坑夫賃銀の引上問題及坑主坑夫間の爭議に關與調停し諸坑區間及他の重要産業へ坑夫を融通する策を講せり、而して石炭消費地に對し產炭地を割當て又千九百十七年八月命令を以て倫敦に於ける石炭分配を監理し各戸の石炭消費量を制限し且つ分配を圓滑にしたる結果、此冬は倫敦に於て石炭不足を告ぐることもなかりき。

三、炭價制限

開戰後石炭の市價漸次騰貴したるを以て千九百十五年七月炭價制限法を制定し坑口に於ける炭價は千九百十四年六月三十日に終る一ヶ年間の當該日附に於ける同一狀況に在る同質同量の石炭の値段より一噸四志を超過すべからざることに定め、尙ほ當局は小賣値段制限に關し小賣商と任意取極を爲せり而して石炭總監設置後政府は卸賣小賣値段制限に關する規定を設けたり、尙ほ坑夫の賃銀を増加したる

ため政府は輸出炭を除くの外坑口に於ける炭價を前述の四志以外に更に二志六片の範圍内に於て引上ぐることを許可せり、而して輸出炭の値段に就ては千九百十七年の初め獨逸潜航艇の活動のため輸出及汽船用石炭の需要減少し其の種類の石炭の値段下落したるか石炭總監は同年六月輸出及汽船用炭價を一定し其の後必要に應じ之を引上げたり。

四、石炭産出及供給

千九百十四年初以來の英國産炭額左の如し。(單位十萬噸)

千九百十四年	上半季 一、四〇〇	千九百十五年	上半季 一、二七六
	下半季 一、二五六		下半季 一、二六六
千九百十六年	上半季 一、二八三	千九百十七年	上半季 一、二六四
	下半季 一、二八一		下半季 一、二二三

又戦前及開戦後に於ける石炭の産出額、輸出額、國內へ供給したる額等と比較すれば左の如し。(單位百萬噸)

年	年	年	年
一九一三年	一九一六年	一九一七年	一九一八年
産出額 三六七	(概算) 海軍用國內消費及汽船用に充つ 三〇三	年未坑口に於ける在 三二四	年未坑口に於ける在 三二四
輸出額 七三	三六		

●大冶特信

大冶獅子山及鐵山兩採掘場は今年に入て切羽を増加したるの結果出礦量を劇増せり、鐵山一日の出礦量平均八百噸より千噸を算し、獅子山一日の出礦量二千噸以上二千四百噸に上る。

四月以來八幡製鐵所に向て輸送せる大冶鐵礦は左の如し。

四月 二一、五〇〇噸
五月 四一、五〇〇
六月 四七、四五〇
七月 四八、七〇〇
此輸送に従事する三菱汽船或は同社雇用船は無慮十九艘にして源々卿尾楊子江を溯り大冶に入港する狀況頗る偉觀を呈せり。

其船名を左に掲示す。

海城丸、蔚山丸、多聞丸、大冶丸、加賀丸、福井丸、御崎丸、英丸、干珠丸、日連丸、若松丸、釜山丸、小樽丸、三福丸、秩父丸、コンソルサルソー、紅葉丸、屋嶋丸、姫島丸、此内紅葉丸、屋島丸、姫島丸の三艘は一回礦石千百噸以上を曳き大冶と蕪湖貯礦所との間を航行するものなり。

本年漢陽鐵廠産銑鐵の八幡製鐵所に輸送済の分

五月 四、七〇〇噸
六月 四、六五〇
七月 一、七五〇

右の運漕に従事せし三井船は喜多方丸、最上丸、上宮山丸なり。

大冶新鐵廠の四百五十噸熔鑪爐二基は米國鐵禁輸出問題發生以來頗る支那當局の焦慮苦心する所なりしも種々運動外交の結果漸く此程輸出許可を得已に積出を了したるを以て不日當地に到着すべく、是にて一同愁眉を開けり。

支那か大正四年十一月に發布せし鐵礦暫行條例及新に本年二月發布せし鐵礦會社監督條件は其裏面に支那か鐵礦國

有の意味を含み外國人に對し鐵礦の不賣讓及酷税を課し將來日支合辦案等不可能たらしむるものあるを以て目下我當局は之れか交渉開始中なり。(在大冶通信員)

●洞海岸の製鐵業

北九州工業の特色は大多數か近世的大企業なる點にあるか就中、其規模と投資額の尤大なるに於て製鐵業は鬱然として他工業を壓しつつあり、同地方をして今日の如く工業化しめたるは最初に工業地として北九州を天下に紹介したる八幡製鐵所に始まれる關係より云へば北九州工業が依然として製鐵業を中心勢力とするは何等怪しむに足らずと雖も最近に於けるか如く官設製鐵所の外に東洋製鐵、九州製鋼、三菱製鐵計畫等其の全投資額に於て官營の壘を摩せんとし官營製鐵所を中心とし同海岸一帯に互り一大製鐵圈を現出し來らんとするは獨り九州のみならず、本邦工業界の一偉觀ならずとせず日清戰後所謂軍器獨立の必要上創設されたる八幡製鐵所は鐵材の需要増進と共に擴張又擴張、目下其第三期にあるか之に對し今日迄に既に投資したるもの若しくは投資す可く決定せるもの九千二百萬圓に達し更に第四十議會の協賛を経たる十萬噸新計畫の千百一萬圓を加算すれば一億圓を越え、之に東洋製鐵の四千萬圓、九州製鋼の千萬圓、三菱製鐵の三千萬圓を合する時は各工場の完成後に於ける投資は無慮二億圓を算す可し、而も之れ同海岸を巡り戸畑より鐵道線路に沿ひて黒崎に至る二里内外の地域に過ぎず、同地方か天下指目の

中心たる故なきにあらずといふ可し、次に以上各製鐵所の能力は八幡製鐵所の豫定計畫完成後に於ける七十五萬噸は動かぬ所と見て東洋製鐵の十五萬噸、九州製鋼所の六萬噸も近く實現を豫想し得可く三菱製鐵に至りては例の三菱式の秘密一點張りにて内容を窺知し難く世間稱せらるゝ四十萬噸は聊か誇張の感なきにあらねと其廣茫たる買收敷地に徴すれば先づ東鐵と同等位の規模と解す可きか如し、何れにするも所謂洞海岸の製鐵圈か百萬噸以上の鐵材を產出するのには遠きにあらず可きか、以上は官營製鐵所を中心とし各獨立の地盤に立たんとする製鐵業なるか其の原料關係に於て東洋製鐵は桃沖鐵山より、九州製鋼は安川氏と漢冶萍との合辦組織にして年六萬噸の銑鐵の供給を受けんとするもの三菱製鐵は朝鮮より原礦を採らんとするか如く大體に於て支那を原料供給地とし特に安川氏の計畫の如き事實に於て日支提携を舉げ居れる注目に値す可し、北九州製鐵業の偉觀は獨り以上の一官營三民營の大製鐵所に止まらず、其の製鐵所に附隨して起り若くは起りつゝある各種製鐵關係事業なりとす、即ち左に示すは一二製鐵所と沒交渉の企業なきにあらねと多數は直接若くは關接に製鐵所と關係を有し然らざるも同地方か製鐵地なるの故を以て茲に工場を創設したるものなり。

資本金

日本製鐵	三、〇〇〇、〇〇〇	折尾
東海鋼業	三、〇〇〇、〇〇〇	若松

日本 銑 鐵	一、五〇〇、〇〇〇	小 倉
神戸製鋼所小森江工場	一、五〇〇、〇〇〇	門 司
東京製鋼小倉工場	六、〇〇〇、〇〇〇	小 倉
戸 畑 鑄 物	一、〇〇〇、〇〇〇	戸 畑
帝 國 鑄 物	二、〇〇〇、〇〇〇	若 松
沼 田 製 鋼 所	五〇〇、〇〇〇	若 松

其他の工場は更に製鐵所に近接せるの故を以て材料供給
其他の便宜の爲めに同地方に工場を起せるものに石川島造
船所、朽木造船所、安田製釘所等あり製鐵所に納品製造の
爲めの各製造業あり各種鐵工所あり觀來れば北九州工業の
殷盛を云ふも其の過半は製鐵關係事業と云ふも誇稱にあら
ずして更に前記三民營製鐵所の完成の域に達せは東洋第一
の一大製鐵地化す可きは勿論恐らく世界有數の製鐵地たら
んか。(大朝)

●鋼鐵代用合金の發明 國際加州サン・デイゴ電報

によれば鋼鐵と同一の強度を有するアルミニウム合金か
鋼鐵の半額以下にて製作する方法發見せられたるか、右合
金の研究は歐洲戰爭勃發して鐵價騰貴以來特に其熱を増し
來り我が國に於ても先年英國マンチエスターなるヴキクト
リヤ大學を卒業してマスター・オブ・サイエンスの學位號を
有し目下大阪市立工業學校に教鞭をとりつゝある岡本勝三
氏は本年四月頃より研究室に閉ち籠りて熱心研究を續けぬ
たる處この程に至り遂にアルミニウムと亜鉛との合金によ
りて鐵の代用品を製作し得る結論と實驗とを得たり、その

成績によれば製造費の點は遙に鐵よりも安く特に造船に應
用して最も妙なるは強軟の力は鐵と比較するに同一にして
或はより以上に進ましむるを得る見込ありと、而して未だ
世界に發見せられざるはアルカリ、酸類に對する腐蝕の度
合なるか現に試験中に屬するものもあれと氏の意見にては
鐵以上耐久力を有すへしと、なほ氏はこの二金屬以外に或
る金屬又は非金屬を加へて鋼よりも強からしむる力を與へ
んと其研究を進めをれるか要するに鐵材の代用品としてこ
の合金が立派に用立てられ得る事は發明せられたるなり。

右につき京大工科冶金學教授齋藤工學博士は語る「能く調べて見ないと直
に斷言は出来ないか今まで自動車のギヤケースの如きものには鑄物として
亜鉛に輕 ^{アルミニウム} 銀一割ほどを加へて之に銅を若干混した物を用ひて居るか第一
力と云ふ點では鐵の代用としては難かしからう、伸縮自在は鐵の特性で隨
分硬い物も出來れば軟い物も出來ると云ふ有様である、此の點に於て十分
鐵の代用になり得るかとうか、輕 ^{アルミニウム} 銀が四分の三混つては或は脆くはなり
はしないかと思はる併し比重より見ると鐵より非常に輕い此點か此の合金
の特色で力の餘り入らない自動車のギヤケースとか或は信管とか機械の一
部分とか同用器具の方面では鐵の代用品たり得るであらう云々。」

●米國鐵鑛値上

米國鐵鑛公定相場引上及鋼鐵公定相場に關し紐育駐在總領事矢田長之助氏
より去月二十二日附を以て外務省へ左の如く報告ありたり。

米國戰時工業局は先般來鐵鑛の公定相場値上に關し鐵鑛
生産者並にアメリカン、ステイル、エンド、アイヨン、インス
チチュート代表者と協議中なりし處愈々六月廿一日鐵鑛一
「グロス」噸(二千二百四十封度)に付四十五仙の値上を爲す

ことに決せり従前の鐵鑛相場は F.O.B. Love lake Pors 「グロス」噸五弗五仙にして値上に依り一噸一弗五十仙と爲る次第なり、今回の値上は勞働賃金及運賃引上の結果に因るものにして右新公定値段は二十二日大統領の認可を得、七月一日より實施せらる因に鋼鐵の公定相場に關し戰時工業局の代價公定委員長ロバート、ブルッキングス氏の言として新聞紙の傳ふる所に據れば鋼鐵の公定相場は六月三十日を以て期限満了するも當業者より其値上に對する何等要求なきを以て其後も現在の儘繼續せらるへしと云ふ。

●伯刺西爾鐵鑛 戰前南米伯刺西爾の歐洲より輸入しつゝありし軌條及び鋼鐵品は巨額に上り居れるか戰後内國產を以て自給するより外なきに至れるを以てミナス、ジェラエス州の鐵鑛を採掘し内國の需要に充てんと計畫あり同國の鐵鑛に付き伯國鑛山技師ジョージ、エッチ、ロビンソンの調査する所によれば從來ミナス、ジェラエス州に存在する鐵鑛の量は少くも二十億噸を超過すへしと測量せられたるかロビンソン氏は尙遙に多量にして將來獨り伯國の需要を充すのみに止まらず、多年世界の需要に應ずるを得へしと發表せりミナス、ジェラエス州に於ける鐵鑛の所在地はリオ、デ、ジャネイロ州の北方二百十七哩の地方にして其廣さは長さ二百七十哩、幅二十七哩、イタピラ、ド、カムボよりセルロフロリオに亘り其中、鐵鑛地は大小六十個所以上に達しロビンソン氏かイタピラ、ド、マー、デンドロの各

所に於て地下百六十米突に存在せる鐵鑛を二百回分析したる結果によれば左の如し。

鐵	六九、二〇〇	燐	〇、〇〇九
硫黃	〇、〇一八	硅酸	〇、八八〇

即ちミナス州の鐵鑛は地上地下共に世界に稀なる良質のものなることを確め得たり又同地は地質極めて固脆なるか故に風化作用を受くることなく且つ一般に丘陵の頂上に存在するを以て採掘上大なる便利あり唯伯國には製鐵事業に熟練せる職工少く又伯國石炭は其質製鐵燃料に適せざるを以て供給を外國に仰ぐの外なき缺陷ありと。

●米國製鋼勞働者増給 米國鋼鐵業組合の發表によれば其製鋼所に於ける各勞働者に對し約一割の賃金増額を行ひたるか同會社か千九百十六年以來賃金値上を行ひたるはこれにて第七回にして三十萬の職工に對して約七割五分の賃金増額を爲したるなり同組合は更に發表して曰く千九百十八年に於ける收入總計は國稅及戰時稅の九千七十一萬六千二百五十弗を別にして六千二百五十五萬七千三百九十一弗なり。(紐育電報、七月三十一日發)

●鐵材供給契約 八月三日フィラデルヒア發 米國船舶管理局の發表に曰く、戰時產業局は戰時造船局に對し今後每週鋼鐵板五萬噸、鋼鐵材一萬六千噸を契約せり、此材料を以て一ケ年に船舶一千萬噸を建造するに十分なり。

●船鐵交換同盟會規約 第一、二回船鐵交換關係

造船所を以て此程組織したる日米船鐵交換同盟會規約左の如し。

第一條 本會は日米船鐵交換同盟會と稱す

第二條 本會は米國政府へ船舶を提供し之と交換的に米國より船舶用鐵材及附屬品を受くる者を以て組織し共同の利益の爲に一致の行動を取るを目的とす

第三條 本會を東西兩部に分ち東部は東京に西部は神戸に各其事務所を設け前條の目的を達する爲隨時打合せを爲す

第四條 本會會員は各自の米國に提供する船舶の重量噸數に應し一定額の醵金を爲し之を以て本會の經費に充つるものとす

第五條 東西兩部に各交渉委員若干名を設け本會の常務に當らしむ但日米官憲に對し交渉する爲委員中より互選を以て本會代表者を定むるものとす

第六條 東西兩部の内規は各別に之を定むることを得

第七條 今後新に第二條の會員資格を有するに至る者ある時は必ず本會に加入せしむるものとす

而して西部事務所内規は

一現在西部に屬する會員は左の如し

但し東部に屬する會員と雖とも西部に其支店又は出張所を有するものは西部の諸會合に参加することを得

川崎造船所 帝國汽船(鈴木) 日本汽船(久原) 大阪鐵

工所 旭造船所(増田) 新田汽船 藤永田造船所

一西部事務所は當分の内神戸商業會議所内に置く

一西部の財務を監督する爲め會計委員一名を設く

一庶務は常設委員(交渉委員及會計委員)に一任す

一東京に於て西部の事務を處理する爲め西部の出張所を東京に置くことあるへし

尙ほ東部會員は三井、淺野、三菱、浦賀、内田、石川島、横濱船渠なり。

●岩淵製鋼所創立 大塚榮吉、田中國太郎、守谷吾

平、池貝庄太郎外數氏の發起にて資本金百五十萬圓の株式會社岩淵製鋼所を目論見株式全部は發起人賛成人にて引受け確定し八月十日迄に四分の一の拂込を徴收し本月中に會社を成立せしむる豫定なるか同會社は北豐島郡岩淵町に在る岩淵電氣精練所を買收し之れに大塚工場の鑄鋼部を其技師職工全部と共に移し鑄鋼用平爐其他鍛鋼設備を完成する計畫なりと云ふ。

●新製鐵會社創立 渡邊修、加藤定吉、河井芳太郎

氏等發起人となり池田寅次郎、伊澤良立、原邦造、安場男、小池國三、安部幸之助諸氏賛成人となり今回相州根府川水電會社を買收し資本金七十萬圓を以て帝國電氣製鐵會社を設立し工場を小田原に設け電力により合金鐵、並に鋼鐵製造を爲す計畫をなし株は發起人賛成人に於て全部引受濟本月十八日證據金を拂込み次に第一回拂込をなし九月上旬會

社の創立總會を開き來る十月中に作業開始の豫定なり。

●日本鋼管シャフト創立 倉知鐵吉、町田豐千代、

福島太郎氏等を發起人總代とし早川千吉郎、服部金太郎、大橋新太郎、内藤久寛、中島久満吉、松方五郎、小池國造、河崎助太郎、高木陸郎等の諸氏を賛成人とし資本金二百萬圓を以て引拔鋼管引拔シャフト車軸機械鑄造及加工鋼業製品等を營業目的として創立中の日本鋼管シャフト會社は緣故募集を以て略滿株となれるを以て一般公募には附せず、八月十五日頃に拂込を了したる上、同月末創立總會を開催する筈なるか成立の上は大阪の岡野工場を買収し直に事業に着手する由なり。

●北陸銑鐵成立

黑板傳作を創立委員長とし資本金百萬圓の北陸銑鐵會社は野坂、乘鞍、三國、朝日の四鐵鑛と原鑛特約供給の下に敦賀に工場を設け創業をなすものなるか株式は發起人賛成其他緣故にて引受け公募に附せず第一回拂込(一株十二圓五十錢)金を徴收し本月中旬創立總會を開き成立を告ぐる由尙同社は第一回拂込金二十五萬圓を以て五噸熔鑛爐一基を福井縣敦賀に於て新設し年額千五百噸の銑鐵を精煉すべき計畫なるか第二期には十噸熔鑛爐一基を新設し年額四千五百噸を精煉すべく會社創立後は直に建設工事に着手し十一月頃より操業開始すべき豫定なりと。

●東京製綱擴張

東京製綱會社(資本金一千五百萬圓)は事業擴張の爲め山陰道の雲伯地方の砂鐵を木炭銑に

洗鍊し一年約五千噸の供給を受ける計畫を樹て島根縣安來に

資本金五十萬圓の日本國產鐵株式會社を起し同社專務取締役赤松範一男、地方富豪櫻井三郎右衛門、絲原武太郎、並に、安來製鋼所長近藤尋平諸氏大株主となり專務取締役に九州若松の鑛業家辻村氏を挙げ九月上旬開業する筈。

●朝日大阪製鐵合併

朝日製鐵會社(資本金六十萬圓)と大阪製鐵(資本金五百萬圓)とは今回合併するに決し來る二十九日頃臨時總會を開き合併案を附議すへしと。

●新著紹介

工學士 吉村萬治 共編
工學得業士 今泉敏

△有用鑛物の產地及用途 全一冊

正價金貳圓參拾錢
郵税金拾貳錢

本書は農商務省鑛山局に勤務せる兩技師の著述にして今回増訂第三版を發行せられたるものなり、著者は先づ鑛業趣味を普及せんとして鑛床成因の項を掲げ實用金屬及非金屬鑛物に關し必要なる事項を述へ產地及產出額の統計表其他市場の相場等に至る迄必要なる事項を網羅し能く其要を得たり鑛業に志す者の重寶なる良書なるへし。

發行所東京日本橋通三丁目丸善株式會社